



☆情報リテラシーを身につけよう☆

2年生のみなさん、保護者の皆さま、元気でお過ごしでしょうか。毎日、こんなに長く家庭内で過ごしていると、いろいろな不安に襲われることも多いかと思います。「今日の東京都の感染者は何人だろうか」「緊急事態宣言は延びるのだろうか」「学校は、いつ始まるのだろうか」「9月から入学式って、本当だろうか」etc…。それもこれも、テレビ、インターネット、新聞(マスメディアと言います。大衆に一度に情報を伝える手段・機関などを言います。)などから、たくさんの情報が入ってくるため、「何を信じたらいいのか?」だんだんわからなくなっているのではないのでしょうか。

中学生ならもう、それらのマスメディアが発する情報が、必ずしも「全部真実」ではなさそうだ…ということが、そろそろわかっているのではないのでしょうか。たくさん情報を得ることは大事です。ただ、それを鵜呑みにする(何でも信じてしまう)のではなく、得た情報の「何が真実に近いか」見極め、「(それから判断すると)どう行動したらいいのか」を自分で考えることこそが大切になってきています。このように、いろいろな手段で情報を受け取り、その内容をあれこれ検討して判断する力を「情報リテラシー」と言います。3年生になると、社会科・公民的分野でこのようなキーワードを学びますが、今、絶好の「情報リテラシー」力を磨くときだと思います。家に居ながらにして学力を磨けるチャンス!ピンチをチャンスに替えよう!!



その「新聞記事」から得られた情報を一つ紹介します。

(4月30日(木)朝日新聞朝刊より。)

宇宙飛行士の若田光一さん取材したところ、「在宅の心得」として「日記おすすめ(心の健康に効果)」を彼は提案しています。若田さんは、ISS(国際宇宙ステーション)内で3ヶ月もの長期間、様々な実験をこなしてきた宇宙飛行士です。「宇宙のような閉鎖空間では日記をつけることが心の健康を維持するのに効果がある」とNASA(米航空宇宙局)の精神心理研究で科学的に証明されているということです。若田さんも、「その日の行動を振り返り、長いトンネルの先を見据えて、今後のことを考える時間をとることはとても重要」と言い、また、「(心身の健康を保つには)生活リズムを乱さないこと」とも言っていました。ISSでは90分ごとに日が昇って沈む(ナント!!)のだそうですが、彼は宇宙でも睡眠時間を変えなかったそうです!

もし、家庭学習ノートに「ひと言日記」を書いていなかった人は、今日からでも書きましょう!

ずっと家にいて、とても不安になってしまっている人、先生たちが相談にのります。学校に電話して、「2年生の先生お願いします」と呼んでください。お話ししましょう。

☆2年生、5月12日に提出する課題リスト☆

1. 国語…よくわかる国語の学習
2. 社会…白地図帳
3. 社会…歴史プリント5枚綴り(○付けをし、点数を記入)
4. 理科…②両面印刷のプリント
5. 音楽…創作「リズムや抑揚に合わせて旋律をつくろう」
6. 家庭…お弁当作りのレポート(記名をする! ホチキスで止める!)
7. 英語…①復習プリント
8. 英語…②1年教科書音読
9. 本紹介プリント
10. 作文「2年生になって」
11. 休校中のしおり
12. 美術…「鉛筆テツサン」したスケッチブック

以上をすべて、上から順番に重ね(つまり、一番上が「よくわかる国語の学習」一番下が「スケッチブック」となる)、一度に渡せるように整えて持ってくる。